

平成24年度学内版 GP 成果報告書

取組名	分野横断型フィールド実践による人間力の向上
実施組織	人文学部
実施責任者	花崎美紀
取組の目標	<p>人文学部の教育・研究目標であり、ディプロマポリシーである「実践知」の効果的な修得プログラムの整備。具体的には以下のことを行う。</p> <p>(1) フィールド実践の継続・実施、「フィールド実践」科目の新設、芸術論の充実を含むカリキュラムの再構築</p> <p>(2) 外国語サロンの充実</p> <p>(3) 人文ミュージアムの充実</p> <p>(4) 卒論発表・ジャーナルの出版など、成果の発表の場の模索</p> <p>(5) 外部組織による評価の導入</p>
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<p>(1) a. 継続取組: 御嶽神社の調査・研究を行った・近隣中学・高校・保育園、図書館、市民調査など近隣市町村との連携活動を行った(参加人数延べ150人)</p> <p>b. 新規取組: ・豊田市美術館との連携(「まくら〜ずワークショップ」)</p> <p>・松本市美術館との連携(「スタジオ・アズーロ 地中海への・からのまなざし」 および現代美術展「ここおそこもどこかのここで」)</p> <p>・ダンスパフォーマンスを行った(参加人数延べ30人)</p> <p>c. 改組科目の中に、「フィールド実践」の科目を新設</p> <p>d. 芸術コミュニケーション分野の再編を行った。</p> <p>(2) 英語・ドイツ語・フランス語サロンを毎週開講し、多文化交流サロンも年間20回程度開催し、大使館ツアーを実施した</p> <p>(3) 人文ミュージアムの創設を模索する一策として、外国語サロン・多文化交流サロンの報告のパネルを毎回作成し、人文ホールに展示した。</p> <p>(4) 4件のフォーラム等を開催した</p> <p>(5) フォーラムにおける外部評価を導入</p>
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望	<p>分野横断型のフィールド実践を継続で7件行い、新規のフィールド実践を3件行い、さらに、フィールド実践を組み込んだ教育体系の再構築を目指した動きを行うことができた。これらに対する外部からの評価も上々であり、そこで得られた評価をもとに、継続して、教育体系の再構築を行いたい。</p> <p>より一層の分野横断型のフィールド実践を行うためには、より多くの分野に参加を呼びかけ、さらに、フィールド実践を行うことを躊躇する教員・学生に対するケアが必要であると思われる。改組に伴い、「フィールド実践」科目が新設されたため、この科目の効果的にどう開講すべきなのか、継続的に考察する必要がある。</p>